

平成 30 年度 事業計画

本年度も変化の激しい観光産業の中で地域間競争を勝ち抜いていく為、当協会がリーダーシップを発揮し下呂温泉を全国に発信して参ります。

本年度は、DMO(Destination Management/Marketing Organization)を更に発展させ、客観的データに基づいた地域マーケティングや地域マネジメントを強化し、地域主体となって稼ぐことができる事業展開を図っていきます。近年ご好評であるスイーツ事業やレンタサイクル事業など、お客様の滞在時間増加に伴う消費の拡大を目指し、より強く魅力的な下呂温泉を目指していきます。また、国から認定を受けた「下呂市エコツーリズム推進全体構想」を最大限活用し、自然環境保全や人材育成にも磨きをかけ、全国初となるエコツーリズムと DMO を組み合わせた「E-DMO」として他地域との差別化を図る取り組みを推進します。

国内のみならず海外誘客においても、昨年アジア三地域による提携を結んだ儒城観光振興協議会・台中市温泉観光協会との連携を強化し、相互交流による温泉文化の発展や、中部国際空港への航空便増便、それに伴う当地域ならびに中部地域への来訪者の増加に向け本年度も継続していきます。また、欧米・中国・東南アジアからの富裕層の受入強化に伴う誘客促進など広域的なインバウンド誘致によって、下呂温泉宿泊客数の底上げを図っていきます。

当地域の活性化の観点からも、下呂市への移住定住促進事業や下呂小中コミュニティスクールへの参画など観光の力を最大限に発揮し、将来的な下呂市の発展に尽力いたします。

総務委員会では、下呂市発足後 14 年経過した現状の市内観光協会の合併について検討・推進して参ります。

誘致宣伝委員会では、昨年度「日本版 DMO 法人」として国から認可を受けたメリットを活かし、本年度より DMO 業務機能を担い、各方面からの入込状況などの調査・分析と同時に、インターネット・テレビなどを活用した効果的な広告宣伝を行い、関東・近畿・中部・東北・中国・四国・九州方面に至る広範囲への国内誘致キャラバンと各所におけるイベントを実施します。また下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂ふるさと文化財団などとの連携をより強化し、下呂交流会館を中心とした「MICE」による経済効果の高い団体誘客活動を進めます。

交流研修委員会では、下呂市の観光資源を対象にした下呂市の観光資源視察研修や先進地の視察研究をして参ります。

まちづくり委員会では、本年度も市当局、議会と連携しながら下呂温泉街のまちづくりを進めて参ります。また環境整備事業として植樹・清掃活動などを行うとともに、レンタサイクルによる受入態勢整備と稼ぐ仕組みづくりを構築して参ります。

おもてなし委員会では、下呂温泉に訪れたお客様に満足していただけるよう、おもてなしの心で、お客様の目線に立ち「いでゆ夜市」「キャンドルイルミネーション」等のイベントを行って参ります。その他、富加・関インターからの県道アクセス、41号線雨量規制緩和、リニア中央新幹線によるアクセスの向上、河川及び景観の整備、安全確保のための基盤整備、“ワイドビューひだ”の大阪直通便の増発、北陸新幹線を含めた高山本線の更なる有効活用等、国や県など関係機関への働きかけを継続していきます。

下呂温泉への年間宿泊者数を維持するための数値目標を定め、常に現状を見極めながら、日本の宝である下呂温泉の更なる発展と雇用の確保ならびに地域の活性化を目指して参ります。関係各位のご厚情と会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。